1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2019 年 9 月 28 日発行　SSKU　通巻第 6556 号

NPO 法人わくわくかん
編集　〒115-0044
東京都北区赤羽南 2-6-6
TEL:03-3598-3337

シャケZoくん

SSKU わくわくかん リボン便り

http://www.wakuwakukan.net/

2019 年 10 月号 No.223

??なぜリボン??

生まれ変わった
再生したという意味の
（Reborn）。
新しく生まれ変わる
「便り」にしたくて、名付けました。

北区への要望書　～就労支援中心に～

NPO 法人わくわくかんでは、毎年、北区および北区議会各会派に、現状と是非対応して頂きたいことについて要望書を提出しています。今年の要望は、2018 年からの精神障害者の雇用義務化や、各省庁の雇用率偽装問題による新採用やその後の問題、増加しつつある高次脳機能障害の方等の利用資源や状況など、就労支援を中心に、大きく下記の 3 点を取り上げました。

① わくわく配食サービスについて　～就労継続A(雇用)型～

A型は、福祉的支援と障がいの方に最低賃金が保証されている事業です。

●障害者センター内事業の給食業務の随意契約のお願い

生活介護の給食業務の委託を担当し 2 年目です。障がいの方の働く内容も増え、安定した雇用のために、障害者優先調達推進方針による契約実施のお願い。

●公的施設跡等への移転または家賃補助等について

消費税増額の中、賃借料の割合は大きく公的施設跡への移転又は家賃補助等のお願い。

●移動販売先のご協力について

財団から移動販売車の寄贈を受けました。買物にご不自由の多い公営住宅、公共施設等への販売先協力のお願い。

② 就労支援センター北わくわくかんへの支援のお願い

当就労支援センターは、主に精神障がいの方の就労面と生活面のサポートをしています。今年は、新たに各省庁に勤務される方も増え、多忙な省庁では担当上司からのサポートが受けられない方もあるようです。状況に応じた訪問、相談、連絡、同行。また雇用義務化前後から、センターの業務量が増えています。精神障がいの方の就労、継続等の安心のためのお願いです。

●業務内容の調整または増額のお願い

北区からの委託で、登録は 870 名を超え毎年新規登録者は 80 名前後。障がいも、年齢、相談、支援内容も多岐に渡っています。常勤 3 名になりましたが手一杯です。業務の調整又は更なる増額のお願い。

●障害福祉サービス事業所の復職等の活用について

休職中や、高次能障害の方が身近で利用できる資源の少なさを感じています。必要性に応じ、福祉サービス利用への配慮のお願い。

③ 公的施設や空き家等での低価格の住まいと福祉事業等との連携

3 月設置の居住支援協議会へ、低廉価の住まい、家主さん等の不安対応へ、福祉事業者の活用や活動の場の提供等、地域ネットワークの視点のお願い。

毎年、役員で持参し懇談の時間を頂きますが、是非、皆さんの声も届けられる場になればと思います。ご興味、ご関心のある方はお声掛け下さい。

都精民協も都に要望

都精民協（東京都精神保健福祉民間団体協議会）は、都内の精神保健福祉団体や家族、当事者、ボランティア会などにより「都民講演会」「東京都への要望活動」をしている都内で、最多数参加の精神保健福祉団体です。

今年度の対都要望では、「身体・知的障害者に支給されている心身障害者福祉手当の精神障害者への支給拡大」、「東京都内精神病院での隔離・拘束の実態の公表について」、「民間賃貸住宅の契約時に、障害を理由として断られる実情の改善について」、「高齢の障害者の働く場の確保について」などの要望を行いました。東京都への要望では、この他にも「知事ヒアリング」という小池都知事に直接要望を伝えられる機会が設けられることもあります。

＜わくわくかん 10 月予定表＞

- ✧ 10 月 02 日（水） 精神障害のある方の就労支援を考える 14:00～東京新卒応援ハローワーク
- ✧ 10 月 11 日（金） 第 8 回北精連施設対抗歌合戦 13:00～赤羽会館 4F ホール
- ✧ 10 月 12 日（土） はたらっくす 16:00～ トライ・ザ・ブルースカイ 17:00～（自立訓練室）
- ✧ 10 月 13 日（日） 「共働」のネットワークをつくる 13:30～都立多摩図書館 主催:ともっと事業体 500 円
- ✧ 10 月 14 日（月） 社会的連帯経済を進める会発足集会 13:30～明大駿河台研究棟 4F
- ✧ 10 月 28 日（月） 現場協議会 16:30～（スカイブリッジ）
- ✧ 10 月 29 日（火） 家族懇談会 16:00～（自立訓練室）

1998 年 10 月 9 日　第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2019 年 9 月 28 日発行　　SSKU　　通巻第 6556 号

就労継続支援 A 型事業
北区赤羽南 2-6-6
TEL：03-3598-0089
FAX：03-3598-0089

わくわく配食サービス

かぼちゃケーキ

簡単ほっこり かぼちゃケーキ

【材料】

かぼちゃ	300g
生クリーム	200
たまご	3 個
砂糖	100g
小麦粉	30g

【作り方】

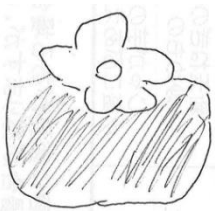
① かぼちゃを電子レンジで柔らかくなるまでレンジにかける。
② ボウルにかぼちゃを入れてつぶします（お好みの粒粒加減で）
③ 小麦粉を入れ、卵、小麦粉、生クリームも入れ全てがなめらかになるまで混ぜ合わせる。
④ 型に生地を流しいれる。
⑤ 170℃に予熱していたオーブンで様子を見ながら焼く。
⑥ 途中焦げそうならアルミホイルをのせて焼きましょう。

かぼちゃの旬は 7 月から 12 月です。
収穫のピークは夏ですが、とれたてのものは甘みが少なく貯蔵によって甘みが増します。
そのため、秋から冬にかけて美味しい季節となります。
保存するときは、傷みやすい種の部分をキレイに取り除けば長持ちします。
もちろん栄養豊富で、髪や皮膚、粘膜の健康維持、のどや肺などの呼吸器系を守る働きがあるベータカロテンが豊富です。寒い冬を迎える前に、緑黄色野菜をしっかり食べて夏の疲れを吹き飛ばしておきたいですね！

豊島区で空き住宅活用の試み

ディサービス、託児所、障害福祉サービス事業所、相談機関

最近、豊島区で新たに行われてる空き住宅を活用したコミュニティ作りを行う会合に参加しました。
名古屋を拠点に活動をされている齋藤理事長とともに、一昨年開設したソーネおおそねを手掛けた方が、今度は豊島区で新たな取り組みを始めると理事長より伺い勉強させていただく意味合いもあり参加しました
また、ここのところの福祉サービスのおかしな動きばかりがあり、日々窮屈な思いをすることが多く何か新たな取り組みの参考になることも期待しての参加したいと思ったこともありました。
ソーネおおそねは、県営住宅の下にあっ大型スーパーの後に作られ、ソーネおおそねの上の住まい県営住宅はまるごとサービス付き高齢者住宅になっています。
豊島区の取り組みは、ソーネ大曽根の様なコミュニティの人達が集まれる場作りと豊島区内に空いた住宅を一棟まるごとでなく空き屋やマンションの空き部屋を対象にサービス付き高齢者住宅とするという取り組みです。
大曽根が縦に広がると考えれば、豊島区は横に広がる取り組みとなる構想です。自分の住んでいるマンションのお隣のひと部屋が、サービス付き高齢者住宅になるということは、住み慣れた地域で生活することが可能になるということだと思います。
現在、集う場所に開設するサイドとしてはあったら良いかなという機能は、高齢者のディサービス、託児所、障害福祉サービスの事業所、相談機関、地域の方々が自由に入れる喫茶コーナー等々交流のきっかけに良いのでは



と卓球スペースの案もありました。
つまり、高齢の方々だけでもなく障がいの方々だけでもなく色々な世代の方が集うる場所をイメージしているということです。
会合に参加していた地域の有名な自治会長をはじめ地域を良く知る方々がいらっしゃいました。今後会合は会を重ねて地域住民のニーズを生かした場所作りが始まります。
北区でも、空き住宅はたくさんあることもあり北区でも住まいの対策と兼ねて色々な方々の利用できる地域拠点作りができると良いと個人的にも楽しそうな構想だと思いました。（N）

1998 年 10 月 9 日　第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2019 年 9 月 28 日発行　　SSKU　　通巻第 6556 号

自立訓練（生活訓練）事業 ボランティア響会

通称 響（ひびき）

〒114-0032　北区中十条 1-2-18
北区障害者福祉センター4F
TEL 03-5963-6888

外出～東京駅

王子駅から、京浜東北線で東京駅へ行き、そのまま地下街へと向かいました。あまり歩かないで東京ラーメンストリートへ。3 組に分かれ、それぞれ思い思いのお店へ入り塩、しょう油などを食べました。お昼前ということもあってすんなり席へつけました。私は塩ラーメンを「ひるがお」で食べました。とてもさっぱりしておいしく頂けましたが、お値段が千円を超えたのが痛かったです。食事を終え地上へ出ると雨も上がっていてそこには、東京オリンピックの開催日までの時間をカウントダウンしている電光掲示板がありました。少し歩くと、KITTE に着きました。KITTE の博物館には色々な物が展示してあり、私の目を引いたのは動物の骨と機械の歯車でした。　(T.T)

〈体験〉配食サービスの仕込み

８月 19 日わくわくかんのＡ型配食サービスの仕込みを体験しました。私自身この障害が発症する前は自営で焼き鳥屋を経営していて、飲食関係は一通り経験しています。そのおかげで配食厨房の K.N さんからもお墨付きを頂きました。又学ぶことも多く、咀嚼力の低下している方には喉に張り付かないように切るなど細部に注意を払い、料理の基本である、「食べる人の事を思いやる」という事を改めて教わった気がします。今のご時世、地位やお金で仕事を考える人が多い中私自身もこの障害を発症し人生の半分をあきらめていましたが、調理場の K.N さんから「バッチリです！！」などと嬉しい言葉を頂き、まだ自分は恵まれていて幸せなんだと改めて考えさせられ、目頭が熱くなる思いでした。本当にこの命と環境に感謝して今の自分に出来ることを 120%全力でやり抜くつもりです。五体満足に感謝です。　(T.H)

〈見学〉防災センター

８月 14 日、K バスに乗って防災センターに行きました。地震体験施設に初めて乗りましたが、震度 7 のゆれの時は、頭に座布団をのせるのがやっとで、本物の地震が来た時の恐怖を少し体験できました。
その後、煙体験では、初めに明るい通路を非常口に向かって歩き、同じ通路を真っ暗になっている中を少しのあかりだけを頼りに壁を伝って出口に向かうという体験をしました。足元が頼りなく、煙を吸わないようにするのに必死でした。
最後に、消火器訓練がありました。ピックを引き抜き、炎の位置に向かって水を放出するという体験ができました。
いざという時に役立てたいと思います。　(E)

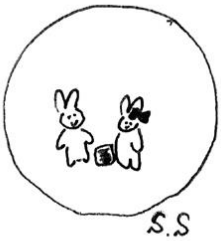
〈クッキング〉ぎょうざ&チャーハン

８月９日、午前にぎょうざ&チャーハンを作り、午後からキッチンで使ったもの等を片付ける！というプログラムを行いました。この１日クッキング、毎月１回は行われていますが、私にとっては「毎回、あまるほど作るなぁ～」と思っていました。1 人でぎょうざを 5 個皮につめて作っていき、自分で食べるのです！！
5 個ならまだいいのですが、具がたくさんあまっていたので、手のあいている人達ですべて皮につめました。
自分で包んだ物を焼き、自分で食べるというのは初めてでした。　(S.S)

夏休みの出来事

夏のお盆休みのときに、大阪に行っている兄が帰ってきました。しかも、嬉しいことに向こうで彼女を作ってきたようです。8 月 11 日の日曜日に彼女を連れて家で家族 4 人＋αの計 5 人で団欒しました。楽しい時間を過ごしました。　(M.T)

響の作品展



1998 年 10 月 9 日 第三種郵便物認可 （毎月 3 回 8 の日発行）
2019 年 9 月 28 日発行 SSKU 通巻第 6556 号

就労移行支援事業

リボーンプロジェクト

〒114-0032 東京都北区中十条 1－2－18
北区障害者福祉センター 4 F Tel：03-5963-6888

プログラム紹介「いいところ探し」

～見方を変えて 短所も長所として～

9 月の研修プログラムでは、久しぶりに「いいところ探し」を行いました。その名の通り、「良い所を見つける」という事を目標にしています。物事を見る時、どうしてもネガティブな面が目につきやすいものですが、見方を変えることで、例えば短所も長所として捉え直すことができます。「いいところ探し」のやり方ですが、まずは全員で各人の名前の書かれた用紙を 1 枚ずつ回し合って、相手の良い所を無記名で書き込んでいきます。（寄せ書きのようなイメージです。）それを続けると、最後にご本人のもとに自分の名前が書かれた用紙が戻ってきます。自分のいいところについて書かれた用紙を読むことで、周囲からの自分のイメージを知ったり、自分でも気付かなかった良い点を見つけたりして、自信の回復にも繋がります。

最初は皆さん恥ずかしそうでしたが、いざ始めてみると、いくつも「いいところ」を書いていらっしゃいました。また、他の人が書いた内容を目にして、「なるほど･･･」と新たな発見をしている方もいらっしゃいました。

「いいところ探し」は、就職活動においても役立ちます。自己 PR においては自分の長所を伝える必要がありますが、「自分には長所なんて無い」と困ってしまう方も多いです。そういった方でも「いいところ探し」を行うことで、ご自身の強みに気付かれることが多いです。自分の長所をしっかり説明できる事は、企業に対して強いアピールに繋がります。

今回は「リボーンプロジェクト」に対する「いいところ探し」も一緒に行いましたので、皆さんが出して下さったリボーンの「いいところ」をご紹介します。

- 色々なスキルが身につく
- スタッフさんが親身になってくれる
- 施設がきれい
- 人と話したり、人の話を聞く機会が持てる
- ゆるい
- 作業プログラムが楽しい
- スタッフの方々が個人の良いところを伸ばそうとしてくれる
- 弁当が 100 円で買える
- 日差しが入ってくる
- 好きな所（決まったところ）で一人でも休憩を取れる
- 健康に良いお弁当が食べられる
- 部屋が広い
- 個性のある方が多い

パソコン講座の目標 解決方法を身につけること

わくわくかんの就労移行支援事業は 2007 年に開設されました。パソコン講座は開設当初からあり、様々な工夫を凝らして、現在まで続いています。

パソコンに限らず、情報機器の性能の向上はすさまじく、12 年前とは様相が違っています。Word、Excel のスキルは常に要望の高いものですが、当時は Office2003 を使っていました。いまショップで売っているは Office2019 です。ちなみに、iPhone の初代が発表されたのが 2007 年で、日本で発売されたのが 2008 年です。

この様に、日進月歩で進んでいるこの世界ですが、やはり基本はあります。基本となるスキルはタイピングです。以前と比べて、スマートフォン世代の方はキーボードよりもフリック入力の方に慣れていて、キーボードによるタイピングの敷居が高くなっています。

そして、講座の最終目標は、解決方法を身につけることです。一番手軽なのは、人に聞くことです。その際、必ずメモを取る習慣を身に付けましょう。ここで、上手にメモを残さないと、後で見直しても分からない事はよくあります。

他にはマニュアルを読むことです。マニュアルには、手順が書かれているチュートリアルと辞書のようなリファレンスがあります。そして、自分に合ったものを探す必要があります。

それでも分からない時は、ネットを活用する手もあります。Google 先生の存在は偉大です。ですが、自分の欲しい情報にたどり着くには、キーワードの選び方がとても重要で多少の経験が必要です。また、Wikipedia は信頼性を考慮して活用しましょう。

そして、極論すれば、これらどの方法でもよいので、これまで、未知だったことを、既知にできる術を身に付ければ、パソコンに限らずスキルアップの方法が広がります。

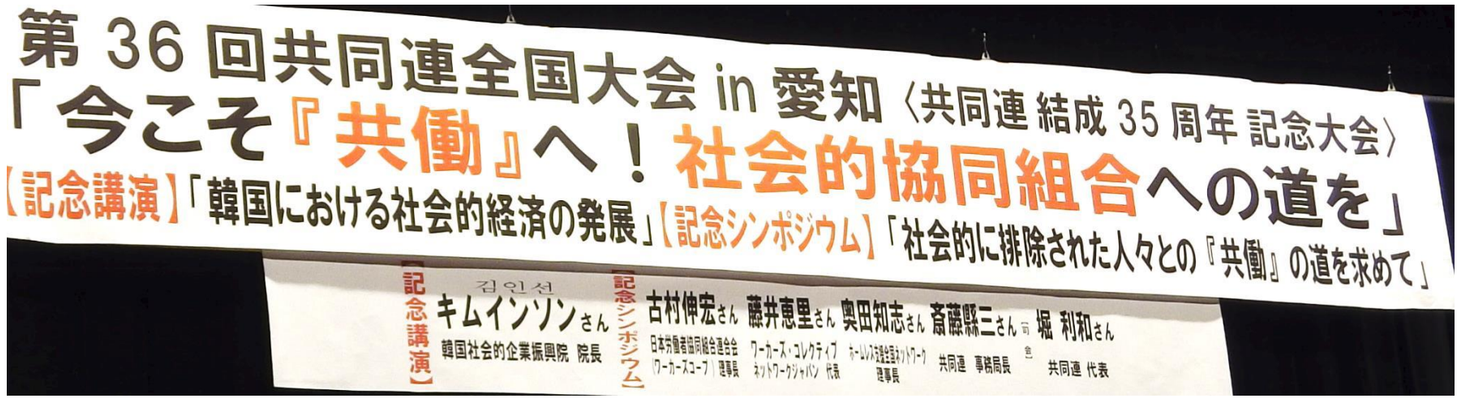
この様に、パソコン講座を通じて、学ことの本質を身に付けて頂ければ幸いです。 （Y.H）

1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2019 年 9 月 28 日発行　SSKU　通巻第 6556 号　《付録》

—「第 36 回共同連全国大会 in 愛知」に参加して—

『雑草魂』代表 H さんの大会印象記（上）

当事者の会はるじおんから『雑草魂』を出している代表 H さんが共同連第 36 回大会を 3 日間に参加、その印象を 400 字詰め原稿用紙 27 枚にして送ってきた。この間、寝不足を訴える彼だが、その力作を他の参加者とダブるところはカットして＜特集＞しました。



●演劇祭『星の王子さま』●

前日は 2 時間しか睡眠できなかった。新幹線の中で眠ろうとしたが、無理だった。K さんと S さんと合流して、ソーネカフェの中の奥の舞台でほどなく演劇は始まった。3 つの団体がそれぞれ劇を演じた。どの団体も障がい者が混じっていて大した文化活動を展開していた。

最初の舞台は東京の「かたつむり」だった。星の王子さまを主人公にした演劇で、身体障がい者を育てるのに手間のかかるバラの花にたとえての物語だった。星の王子さまがバラの花の相手（介護）に疲れて、自由を求めて、宇宙の様々な星を旅して、地球にもやってくるという内容だった。それぞれの星では障がい者以外は収容所に入れられてしまう星だったり、資格がないとバラ（障がい者）を育てること（介護）ができなかったりと障がい者を抱えている社会問題をそれぞれテーマにしていた。星の王子さまはその中で自分が無責任にバラを置き去りにしていたことを反省して、責任のない無責任な自由は虚しいということに気づき、自分の星のバラの元へと帰るのだ。とても感動的だった。

先の参議院選挙で重度障がい者として当選された木村栄子さんが車イスで挨拶された。赤いバラ役をされた三井絹子さんとお二人に初めてお会いした。この劇には、木村栄子さんの自立生活ステーションつばばさの人たちも合流し、ほんとに多人数の舞台だった。

挨拶をする木村栄子 参院議員

●「障害者就労の仕事起こし」●

第二研修会では、「障害者就労の仕事起こし」ということで「みんなのわ」の和田さん。障がい者就労事業所の事例報告として NPO 法人楽歩の大原さん、(株) DIPPS の清水さんの報告があった。和田さんという人は同志社大学出身で三井物産に 32 年勤めていた人。企業には総務部に CSR 課というのがあり、そこで工場長やマネージャーに可能な部分をお願いする。障がい者のできる範囲内で無理のない程度の仕事を紹介してもらい、今までに 147 の事業所にマッチングできるところに仕事を紹介しているのだそうだ。なんだか、わくわくかんでは、就労支援をしているリボーンプロジェクトや就労支援センターの職員のする仕事に近いと感じた。少なくとも障がい当事者の私のできる、やる仕事ではない気がした。

次に NPO 法人楽歩の大原さんの事例報告を聴いた。彼女は大学卒業後様々な仕事を積んで、「目の前にいる人のことを考えなさい」という言葉で福祉の仕事に就くことを決意したという。楽歩では困っている人達の力になりたいとコーヒーを焙煎して販売する仕事をしている。また、病院の中や階段などの清掃を請負業務としてしたり、公用車の洗車の仕事、保育園のおにぎり作りなどをしている。そして、無農薬の農業を始めたのだそうだ。農業を始めるのなら市区町村の役所で土地の地権者を紹介してもらうとよい、仮に草ぼうぼうになってしまっても役所が地権者を紹介した手前、責任を感じて相談にのったり、面倒をみてくれたりするとノウハウを語っていた。一般就労への転職については「私達の事業で最後までいっしょにやりたい」と語っていたのが印象に残った。

3 人目は（株）DIPPS の清水さんの話。DIPPS ではカフェレストランの運営や配食サービスを中心に事業を展開している。フランチャイズと Web を活用した注文形態を考案していた。ただ新規事業に関しては失敗した時のリスクが怖いと。それは危なっかしい上司についていく障がい者職員だって同じように怖いのだと知ってもらいたかった。ドロップアウトしたときも生きていける地域があるといいとも語っていた。それはそうだと私も思う。5 年前にはなかったが、今ではお金が取れる時代になったと仕事起こしの可能性について語っていた。最後にセントラルキッチンかすがいの三田さんがいろいろな可能性を試してみるのが大事だと締めくくった。

私には当事者の会はるじおんの代表という肩書きもあり、食事の後看板を前後につけて「雑草魂」という本を販売しないとならなかった。しかし、新幹線で苦労して運んできた、サンドイッチマンの看板を着て販売するはずの N さんの姿はなかった。そこで、近くにいた M さんが同じ障がい者で「雑草魂」に寄稿しているよしみで手伝ってくれた。釣り銭などを出す手前、独りで販売するのには無理があった。4 階の販売ブースの並んでいるそばで、私達は「雑草魂」を近くにいた人達に片っぱしから声をかけてゲリラ的に販売した。幸いすでに 2 冊は売れていた。この時はサンドイッチマンは私独りだったが 5 冊売れた。

●開会式と記念講演●

全体会の開会式と記念講演に参加した。開会式では「誰一人も置き去りにしない社会的経済」を目指すとされた。それが社会連帯経済の骨子らしい。社会的にハンディのある人もない人も共に働く社会の実現を目指すとした宣言があった。福祉サービスではない、対等、平等の関係で **（つづく）**

1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2019 年 9 月 28 日発行　SSKU　通巻第 6556 号　《付録》

働くとしていた。それには、出資・経営・労働が同等となる。つまり、皆が出資して経営して働く、社会的協同組合を目指すのだと言う。ただ全国大会の参加団体や人数は増え続けていたのが、今年は参加人数が減っているという厳しい結果も報告がなされた。

記念講演としてキム・インソンさん（韓国社会的企業振興院院長）の「韓国における社会的経済の発展」と題した講演があった。

韓国のゲスト（中央がキムさん）たち

社会的経済を語る上で重要になるのはそれと対抗した関係にある新自由主義の説明である。つまり株主利益、市場万能主義、市場での無限の競争が特徴である。この新自由主義の台頭で社会的不平等が極端に広がった社会ができ上がってしまった。これは様々な社会問題を生みだし、しかも問題を深刻化させている。2007 年に社会的企業育成法が制定された。その背景には IMF の通貨危機、産業構造の変化、低成長、高齢化などの問題があったとしている。社会的企業に認証されれば国より財政支援を受けることができる。また育成支援としてソーシャルベンチャーの発掘と創業支援のシステムがある。脆弱階層の雇用比率は 60%くらいで当事者の連帯していく力が重要である。そして、文政権は社会的経済の活性化の政策をうち出していて、これは認証から登録制に変えることで活動が社会的な価値を持っているかが問

—「第 36 回共同連全国大会 in 愛知」に参加して—

『雑草魂』代表 H さんの大会印象記（下）

われる制度で、温かいぬくもりが感じられる社会を目指している。質問には徴兵制と雇用の関係について問うものがあった。しかし、韓国の若者は大学に在籍中に兵役を果たして、復学して卒業と同時に就職するのが一般的なのだそうだ。

その後、名古屋大学の生協で交流会があるので、地下鉄でそれぞれ各人、移動した。移動には 30 分くらいかかった。料理を食べ、音楽とダンスで楽しんだ。私は M さんとサンドイッチマンをやって、「雑草魂」を売り歩いた。その日用意した在庫の 11 冊を全て完売した。足りないくらいだった。パフォーマンス大会に出場して、審査の上、景品をもらったりもした。私は健康上の理由からビールは飲めず、お茶とジュースで乾杯した。皆で顔に化粧をしたりして、結構楽しんだ。会が終わってホテルに帰る電車のエレベーターで車椅子の若者に「あっ共同連の人だ」と声をかけられた。全国大会に参加する様になって 10 年くらい経つ。私もとうとう「共同連の人」と呼ばれる様になったかと複雑な気持ちになった。彼には「お疲れさま」と一言答えてホテルに帰った。

●社会的協同組合を展望するに参加●

まずワーカーズコープの石本さんの話があった。障がい者協働事業所として協働組合を利用してコミュニティカフェを運営している。13 名の組合員が働いていてその中には障がいを持った組合員もいる。全員が出資しているという。

次に企業組合（法人格）あうんの代表理事の荒川さん。地域に根ざした事業運営をしている。いろいろなことの活動拠点としてのカフェ作り、資源カフェ事業を来年 3 月から開始する予定。定期的メンバーは 24 名いるとのこと。さらにワーカーズコレクティブの和田さん。出資して経営して、労働する。就労コーディネートもしている。また小さい団体をネットワークすることなどもしている。

次はホームレス支援のわみ相談所の三輪さん。50 人くらいのシェルターを作っている。現在ほとんど満員状態である。最後に共同連事務局長の斎藤さん。労働者協同組合法が立法化される。普通の法人では上下関係があって、対等平等共にではない。社会的事業所の具体的な形として、社会的に排除された人を含めていくような、社会的協同組合を展望できるのではないかと考えている。共同連の方向性は変わっていない。いや、やっぱり変わっているとした上で、労働者協同組合法ができる時代がみえてきた。それに、見える形で任意団体で社会的協同組合と言えばいいと考えている。わっぱの会に会費を払っているのを出資金にすればよい。これから作る社会的協同組合の原則の中に社会的排除者を含めることをうたえばよい。という様な内容のことを話していた。そして、協同組合にすれば全てが解決するのか？という問いかけに石本さんは、みんなで話し合って合意形成して決めていくのは難しい。自分の意見を発するのが苦手な人が多い。逆に主体的に働くとはどういうことか考えて欲しい。というような答えだった。そして、荒川さんは、みんなで決めるということは

も人とどういうふうにつながっていくか考えている。次の世代で失くなるものはなくなっていいと思う。新しいワーカーズコレクティブを作っていけばいい。最後に、わっぱの会の斎藤さんは、自発的意思だけでわっぱの運営をする。わっぱの運営、大会準備はボランティア。地域の中で連携していく、組織の中しか見ないとおかしくなる。開かれた団体、他の団体といっしょにやっていく。としめくくった。

●「日韓医療協同組合の＜地域を変える＞」●

全体会「日韓医療協同組合対談　医療協同組合が地域を変える」に出た。まず韓国の安山医療福祉社会的協同組合専務理事のシンユンカンさんの講演から始まった。初期は環境労働家や市民が力を合わせて成長してきたことなどを語った。医師、総合病院、大学病院は大都市に偏って存在する。不平等な医療資源となっている。その中で安山市は将来的に 65 歳以上が 34%になる。そこでコミュニティケアの発想が重要になる。これは政府の作る制度ではなく、持続可能な社会を作るということ。経済的な価値中心ではなく、社会的な価値、サービスが必要なのだということ。また、病院の診療はお金になるが、地域社会の訪問医療や主治医になるのはお金にならない。そのため多くの医師は社会的医療に反対している。そんな中でシンさんは苦労しているようだった。シンさんの好きな日本の言葉に「秋深き隣は何をする人ぞ」という松尾芭蕉の俳句があり地域社会とは隣りの人への関心から始まると語った。

大会をもりあげたわっぱのちんどん屋

次に日本の南医療生協代表理事の成瀬さんの講演があった。南医療生協についてのテレビ番組の特集 VTR があり、それを観せてもらった。病院に関わる印象とは思えない程住民達は笑顔でハツラツとして、病院内にあるトレーニングジムを利用したり、カフェや卓球に興じたりしている映像が流れた。全て、病気予防、健康維持に力を注いでいる映像であった。その後、パワーポイントの講演が少しあった。障がい者は高齢化社会の中で大多数に将来なっていく。社会保障は「本人申請主義」。だから医療生協の行っているような会に所属して教え合わないと権利が主張できないなど発言されていた。また、職員の協同組合に対する理解力が弱くなったと大きく安定した組合に育ったからこその問題点をあげていた。対談ではシンさんから、組合が赤字になって解散するような事が過去にあって、利益のためだけにやっているのではないと意志を固めて頑張ったこと。そして協同組合の弱点は労働者の権利は重要で、安山医療社協のメンバーは賃金の問題の協議をすると、雇用者、使用者に別れてしまう。階級論を持ち込むとバラバラになってしまうことなどを語った。

1998 年 10 月 9 日 第三種郵便物認可 （毎月 3 回 8 の日発行）
2019 年 9 月 28 発行 SSKU 通巻第 6556 号

第３回わくわくかん家族懇談会のお知らせ

今年の家族懇談会は偶数月に開催しています。

開催日時： 2019年10月29日（火）16:00～
場　　所：障害者福祉センター4 階　自立訓練室
内　　容：依存症を知る　～ゲーム・ネット依存　等～
講　　師　八木　眞佐彦さん（周愛荒川メンタルクリニック）
個人面談：※（事前にお申し込みを）17:00～
連 絡 先：【TEL】03－5963－6888【FAX】03－3906－9997

障害者の普通入学の壁―共同連大会第 4 分科会―

義務教育期間の小・中学校においては、障害者（軽度～重度まで）が普通学級への進学を希望した際の環境が大分整備をされてきている。医療的ケア児についても保護者以外でも介助者がつき、エレベーター等のバリアフリー化が公立小中学校で進められている。

ただ、高校入学となった場合、話は別になる。【義務教育】の期間が終わり，自分で自分の進路を考えるのは健常者も障害者も同じ。小中学校を公立の普通学校で過ごした障害者が、高校も地域のみんなと同じ普通課程に進みたい、と思うのは自然な流れのようだが、現状はそこが叶わない。

愛知県内で 2 年前の中学 3 年生の時、受験をした重度の障害がある子が 2 年連続で不合格判定をされた。…【言葉】愛知県内では原則定員内不合格は出さないとしている。東京都もそうだが、岐阜県では定員内不合格もあり得ると回答していて地域格差がある。そんな愛知県という理解がないため、どれも困難であり【とてもいたたまれない時間であった】と保護者は話す。高校側は学力の不足と整備面を理由に不合格とした。それでも小中学校と地域の友達と過ごした時間がかけがえのないものであり、高校でもその貴重な時間を体験させたいと今年度も受験に挑むそうだ。…誰もが平等な教育を受けるためには、まだまだ理解も認知も浅い。 (M.H)

パフォーマンス大会

パフォーマンス大会では、わくわくかんの皆で顔にペインティングをして舞台に上がり、個人的には刺激的だった。私のギター伴奏は 1 ヵ所間違えたが、無事に終えられて良かった。聴衆の皆さんが暖かく私達を迎えて下さり、明日から生きて行く力が貰えた。

今回、韓国の方々も大勢参加されており、韓日は政治的には残念ながら対立しているが、国民レベルでは仲良く出来るし仲良くしなければいけない、世界各国は協調していかなければいけない、現代は争う時代ではない、と強く思った。 (H.M)

９月はたらっくす報告

9 月のはたらっくすは 13 日の（金）16～18 時に行われ、2 名の参加でした。丁度、進路の選択の岐路に立っている方でしっかり支援者がいる方だったので、変な意見は言えないし、でも応援はしたいし、と少し発言を迷いました。結局、選択肢として情報提供をしました。次回のはたらっくすは、10 月 12 日（土）16～18 時にわくわくかんに於いてです。 (M)

1998年10月9日　第三種郵便物認可　（毎月３回８の日発行）
2019年9月28日発行　SSKU　通巻第6556号

「共に」をめざす４団体が連携めぐり議論～全体会

斎藤縣三事務局長は、大会挨拶で「共同連は新たな目標として日本型社会的協同組合に向かって前進する」と宣言した。そして共同連全国大会のハイライトは、「社会的に排除された人々との”共働”の道を求めて」の記念シンポジウムだった。日本労働者協同組合連合会、ワーカーズ・コレクティブネットワークジャパン、ホームレス支援全国ネットワーク、共同連の各代表がそろった。

司会の堀さんは、まずワーカーズコープとワーカーズ・コレクティブの違いを求めた。

ワーカーズコープの古村伸宏さんは、私たちの運動は失業から始まった。良い仕事にこだわって一人一人の主体性を大事にしてきた。1985年、労働者協同組合となった。他者との関係性の中で主体性と協働性をはぐくみ、様々な分野で１万５千人、３５０億円の事業になった。協同組合は同質な人たちといわれるが、私たちは、異なる困難な人たちの協同、異質な共同で、地域の公共性をめざしていると語った。

ワーカーズ・コレクティブの藤井恵理さんは、「雇われない働き方」を特徴としている。生活クラブ生協の中で生まれ、90%が女性で、働き方も自治して地域の課題を出資・労働・経営の、ともに働く人々の協同組合として３５０組織８千人、１３０億円の規模と紹介した。

ホームレス支援の奥田知志さんは、日本の４大寄場において、就労の問題は大きかった。派遣法ができ、90年代初め生活が崩れ始め、生活基盤のない女性・若者・こどもにも生きづらさが広がるようになり「丸ごと支援」が必要な時代になったことを強調した。

共同連の斎藤さんは、共働作業所運動から始まったが、2000年イタリア社会的協同組合の出会いから他の困難者を含む社会的事業所に変更した。2006年の障害者自立支援法以降は、滋賀県や札幌での地方での社会的事業所制度はしぼみ、Ａ型Ｂ型とその助成に流れ込み、「共に」は福祉制度の枠組みの中での職員（支援者）が障害者（利用者）を指導訓練する場になってしまった。

「労働者協同組合法」の実現が高まった今、この４団体が力を合わせ、制度からこぼれ落ちる人々に「共に」働き生きる「社会的協同組合」への道が見えてくる方向をめざしたい、と語った。　（K）

初めての〈困難者〉たちの肉声 第５分科会　制度から排除された就労困難者の働き方

共同連がこれまでめざしてきた社会的事業所、しかし実はその対象となっている困難者達の声を、個人的にはともかく共同連としては今回初めて分科会としてそれを聴く機会となった。最近内閣府が発表した実態調査、ひきこもりの人が115万人、いわゆる8050問題も明らかになった。それは私の問題意識からもきわめて興味深いものである。

発題者はまず、京都難病支援パッショーネ理事長の上野山さん。自身も難病患者であるが、多種多様な障害・困難を抱えた人たちが自分にあった仕事を見つけ、今や30近い種類の仕事を個々人がこなしているという。

多文化共生リソースセンター理事長の土井さん。在留資格が30ほど、それぞれの資格によって日本国内でできることできないことが限られ、つまり制度を十分持てない人たち、また差別や偏見に苦しんでいる外国籍者の就労困難な実態が明らかにされた。

オレンジの会理事の鈴木さん。自身も中学校からひきこもりで、しかし今や社会福祉士の資格をもって支援に奔走しているという。ひきこもりは就労困難であるとともに、その状態や「個性」は多種多様。10年や20年、家または自室に閉じこもってそのタイプは一言では言えない。

トライゲイン代表の金子さん。自身も罪を犯して長年服役。刑余者の困難はあまりある。法務省の発表でも、出所後職を得た人は再犯率がかなり低いことがわかる。それだけに就労が大事。

三重ダルクの杉村さん。自身も薬物やパチンコなどの依存症者。世間の偏見、人間として見られていないという。今ダルクでピアスタッフをしているが、やはり就労は厳しい実態があるという。

討論にまで至らず、一人ひとりの声を聴くのが精一杯の分科会であった。来年9月に、この問題をテーマにした全国セミナーの開催を提案しているところである。

報告　堀　利和

現場からの報告（26）

産休うずめてネットワーク育つ

リボーンと響で管理者だったスタッフＫさんが産休に入ったのは、今年２月でした。３月には無事に男の子を出産されました。響では、Ｋさんが担当のプログラムやメンバーが多く、実際にＫさんが休みに入ると、残ったスタッフは不安の毎日でした。響に通っているメンバーも、Ｋさんなしで大丈夫かと、内心頼りなく感じていたと思います。しかし、１ヶ月、２ヶ月と過ぎていく中で、Ｋさんが大きな役割を果たしていたプログラムも無事にこなしていき、少しずつ私たちスタッフにも自信がついてきました。また、Ｓさんにも入っていただいて月２回のミーティングを定期的に行う中で、チームワークも生まれてきたように感じます。10月からＫさんが勤務を少しずつ復帰させていくということで、少し落ち着く気持ちもありますが、来年４月までは育休中で勤務時間は限定されているので、もうしばらくの間、Ｋさんに頼らず頑張っていければと考えています。

（S.W）

1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　　（毎月 3 回 8 の日発行）
2019 年 9 月 28 日発行　　SSKU　　通巻第 6556 号

「社会的連帯経済を進める会」が発足へ

「社会的連帯経済を進める会」の発足集会が 10 月 14 日、明治大学駿河台キャンパス研究棟で 13 時 30 分から開催されます。「ソウル宣言の会」6 年間の活動を踏まえた新しい出発です。

また 9 月 5 日付けで、若森資朗・白井和宏・鈴木風人 3 氏の設立準備会が「「ソウル宣言の会」のこれまでの活動総括と社会的連帯経済を推進する新たな組織の提案」が発せられています。

14 日の「発足集会」のプログラムは以下の通り。

・基調講演　「SDGs と社会的連帯経済の役割」
柳澤　敏勝氏（明治大学教授）

・第 1 報告　「山形県『庄内 FEC 自給ネットワーク』のいまとこれから」
白井　和宏氏
（一般社団法人市民セクター政策機構）

・第 2 報告　「千葉市『つながる経済』の取組み」
木村　庸子氏（社会福祉法人　生活クラブ風の村）

・第 3 報告　「SDGs のまちづくり」
森　良氏（NPO 法人エコ・コミュニケーション・センター:ECOM）

・終了挨拶　「2020ＧＥＳＦ2020 メキシコシティ大会」の呼びかけ

企業や就労の準備のためのお金―第 5 研修会　「地域共同基金」の設立

名古屋では今年 1 月、生活困窮者の生活を応援する「地域共同基金」の準備会がたちあがり 11 月にグラミン日本名古屋が立ち上がります。

司会は、わっぱの会の地域連携・訪問型自立相談支援員の日比英二さん。

発題は、セカンドハーベスト名古屋の山内大輔さん。日本では年間 600 万トンの食糧大量放棄している。それは全世界の食料支援の訳 2 倍にあたる。まだ食べられる食品を活用し生活に困っている人の生活を食で支える活動を東海 3 県で展開している実例報告。

グラミン日本名古屋準備会の関根太郎さんからはバングラディシュで成功を見た生活が苦しいシングルマザーやワーキングプアに「企業や就労の準備のためのお金」を融資。互助グループ（5 人 1 組）を創り、トレーニングとミーティングの仕組みを語った。

ホームレス・外国人支援活動を 25 年間関わる「のわみ相談所」の三輪憲功さんから豊富な事例が語られた。

昨年度の相談件数 1193 件から電気・電話・家賃などの緊急資金援助の相談が激増、公的資金の借り入れ条件のむつかしさがあり、のわみ的支援もしているが、フードバンクとの提携から共同基金で 11 月 2 日に設立する。グラミン名古屋とも連携して来年度から活動開始できるように資金の調達を進めると語った。フードバンクと困難者支援で実績を持つ団体とグラミン銀行と提携しあった注目すべき試みだ。

第 5 分科会＜困難者＞に参加して

胸にささった難病・刑余者

福祉資源が目の前にあるにも関わらず、枠組みから外れそれらを使えない各団体のお話は非常に興味深いものばかりだった。誰一人として暗い顔をしておらず、みなさんがイキイキとしておられる。福祉資源に囲まれながら活用方法に対し不器用を発揮している私は、身の引き締まる思いだった。

特に心を揺さぶられた言葉があった。それは難病者の就労支援をしている上野山さんからのお話の中にあった。障害者手帳がもらえないため障害者就労の福祉資源を使えない人々。活動の中で気が付いたこととして、理解と配慮を求める前に、自分自身に人材（能力）としての魅力はあるか？自分が主役であり受け身の人間ではないと意識はあるか？支援を受けて当たり前といった意識を持ってはいないか？・・・・自らも難病と闘っている上野山さんならではの言葉だった。これらの言葉は、強く使えば障害者を傷つけてしまうこともあるだろう。しかし、上野山さんは続ける。「一番大切なのは感謝の気持ち。そして自らが愛される人となることが大切だ」と。私はその言葉を、支える側として重く受け止めた。障害を持つ方々、まだ障害を持っていない私、に大きな違いはないはずだ。「感謝はストレス解消となる」ともおっしゃっていた。

矯正施設収容者の退所後の社会復帰支援活動をしている金子さんからは、社会復帰を目指す方々にとって、「職・食・住」が何よりも大切であるとのお話を聞かせていただいた。現在の刑務所には、社会復帰のためのプログラムがなく、退所後に居場所をなくしホームレスになってしまったり、再び罪を犯してしまう深刻な現実が語られた。そのためには社会が受け入れ、居場所を作るシステムが必要であり、働く場所がもっとも大切であると力説されていた。働くということは、お金をもらうだけではなく、必要とされている、信頼されている、「生きている実感」を感じる場所でもあるんだ、とのお話に、自分の現在の働く姿勢を正された思いだった。

（U．K）

1998 年 10 月 9 日 第三種郵便物認可 （毎月 3 回 8 の日発行）
2019 年 9 月 28 日発行 SSKU 通巻第 6556 号

投稿

●わたしと絵の話●

物心つく前か後か覚えていないけれど、わたしは気がつけばいつも描くものを右手にキャンバスに向かっていました。画用紙にクレヨン、自由帳に鉛筆、教科書の隅っこにボールペンで落書き…今ではイラストツールを使い液晶画面にタッチペンを走らせ、さまざまな技法で絵を描くことが出来ます。

「絵を描く仕事」を、将来の夢にしていた時期もありました。絵を描くことが楽しいから、大きくなったら絵や漫画をみんなが見てくれるようなすごい絵描きになろうと、七夕の短冊や学級文集に書く夢は絶対「漫画家になりたい」「イラストレーターになりたい」。

絵を仕事にしている人たちは星の数ほどいます。きっと彼らはわたしのように絵を描く事が好きで、その絵でみんなを喜ばせたい、あなたの作品が好きだと言ってもらいたい、自分の特技は素晴らしい仕事にすることができるだろう…そう考えている人も多いと思います。でも、今のわたしの夢は「自分に合った仕事に就くこと」。イラストレーターじゃないの？と言われることはたくさんあります。しかし、いつの頃からか趣味を仕事に出来るのか、という気持ちが湧いてきてしまったのです。

好きな事がそのまま仕事になる事ほど素敵なことは無いと思います。ですが、そうする事が自分に合ってるか否かはまた別の話なのです。仕事となるとどうしても自由度は減り、絵を描くことが楽しくなくなってしまうのではないかと考えるようになりました。

昨今は仕事でなくても、SNS 上で好きなように絵を公開して沢山の人に見てもらうことができ、それで高い評価を得ている人も少なくありません。

結局わたしは、何にも縛られずに自由に絵を描きたいんだという結論に至りました。プロとして活動する人、趣味の範疇で絵を楽しむ人、それぞれの作品が楽しめる良い時代に生まれたことに感謝し、これからも自分のペースで絵を描き続けようと思いました。

（絵・文とも C.S）

就労支援センター北わくわくかん

登録者（2019年８月末）866 名
就職者　２名（事務・清掃 1、作業 1）

グループホームわくわくかん

女性ホーム 4 名定員中、3 名の方が入居中、9 月末には 1 名卒業されます。皆さんはグループホームにどんなイメージをお持ちですか？家事を協力し合い、共に食卓を囲む感じでしょうか？いいえ、いろんなタイプがあるので、基本は一人暮らしと変わりません。自分の事は自分でしなくてはいけません。でも困った時には世話人がお手伝いさせて頂きます。また全員が独り暮らしを目指している訳ではありません。中には、ご両親との関係がうまくいっていない方が GH を経る事で、良い距離感を築く事が出来、退去後に実家に戻られる方もいます。

先月　ご協力いただいた皆様

東京都労働局・東京都精神保健福祉民間団体協議会・北区障害福祉課・北区健康推進部・北区社会福祉協議会・北区障害者福祉センター・ハローワーク王子・池袋・飯田橋・東京障害者職業センター・東京しごと財団・東京都立精神保健福祉センター・東京都立王子特別支援学校・北区社会福祉協議会・北区教育委員会・労働者協同組合連合会・ワーカーズコレクティブネットワークジャパン・ホームレス支援全国センター・NPO 法人わっぱの会・ソーネおおぞね・あしたや共働企画・特定非営利活動法人のらんど・社会的企業研究会・企業組合あうん・ワーカーズコレクティブ協会・ともっと事業体・シャロームの家・NPO 法人太陽と緑の会・認定ＮＰＯ法人やまぼうし・NPO 法人 VIVID フレッシュスタート目白等、お世話になりました。

▼編集後記

厚生労働省は８月８日、外国人技能実習生の実習実施者に対する平成 30 年の監督指導、送検などの状況を発表した。実施した 7334 事業所のうち、実に 5160 事業所、70.4%で労働基準関係法令違反が認められた。違反事項は「労働時間」23.3%で最も高く、「安全基準」が 22.8%、「割増賃金の支払」が 14.8%の順で、法令違反として送検したのは 19 件とわずか 0.3%にしかない。実習の名で過酷な労働が違法実施されている。他方、在留資格を失った外国人が入国管理施設で長時間、収容され続けるケースが増えているという。「入菅 長期化する収容」（朝日 9.5）では、国内にある 17 施設に 1200 人余りの人が収容され、数年間に及ぶ例も珍しくなく 2007 年以降施設内での死者は 15 人、自殺は 5 人、未遂も相次いでいるという。弁護士の児玉晃一さんは「日本の入管政策は全件収容主義です。逃亡の恐れがあるかなどに関係なく、不法状態にあるというだけで、誰でも捕まえて収容してよい、とする考えです。外国人の人権とは相入れません」と制度改革を強く訴える。

発行所　郵便番号 157-0073　東京都世田谷区砧 6-26-21　特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会　定価 100 円（会費に含